

滋賀県内におけるストック効果と交通現況について

原 彰人¹・安田 有佑²

¹近畿地方整備局 滋賀国道事務所 調査課 (〒520-0803滋賀県大津市童が丘4-5)

²近畿地方整備局 滋賀国道事務所 調査課 (〒520-0803滋賀県大津市童が丘4-5)

滋賀県は、県内総生産に占める第2次産業の割合が全国1位であり、日本一の「ものづくり県」となっている。これは、滋賀県が、近畿圏、中部圏、北陸圏の中央に位置する地理的優位性が高いこと、および名神高速道路、北陸自動車道、新名神高速道路の高速道路網整備が進んでいることが一因となっている。

本論文では、滋賀県のうち、特に湖東地域、東近江地域、甲賀地域を中心に、これまでの道路整備によるストック効果を整理するとともに、更なる既存ストックの活用・発展のためにはどのような課題があるのかを検討したものである。

キーワード ストック効果，道路計画，地域活性化，社会経済ストック

1. 滋賀県の現状と課題

(1) 滋賀県の地形的、気象的特徴

滋賀県の地形的な課題は、中央に琵琶湖があるため、琵琶湖大橋を除く東西方向の移動が制限されるとともに、周囲を山に囲まれているため、府県境界部は、異常気象時通行規制区間が存在することが挙げられる。また、琵琶湖西岸断層帯による地震発生の危険性も課題である。

気象的な課題は、滋賀県北部は豪雪地帯であるなど、県北部と県南部では冬季の気候が大きく異なる点が挙げられる。

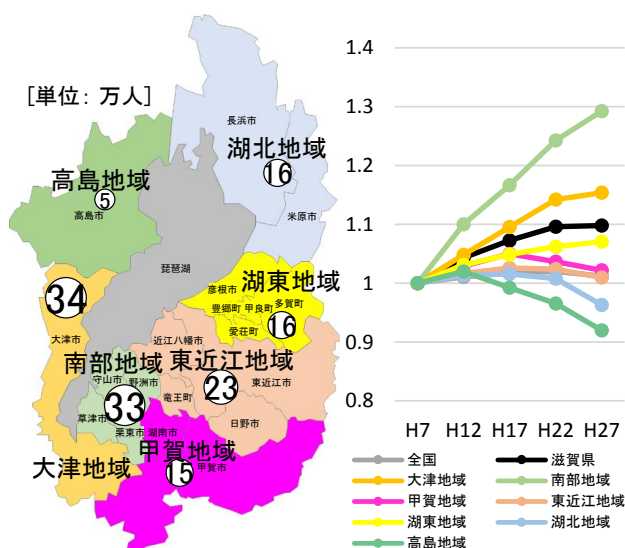


図-1 各地域の人口及び伸び率の推移

(2) 滋賀県の人口

滋賀県の人口増減率は、全国第7位であり、特に南部地域は、依然として人口増加傾向¹⁾にあり、住宅の増加率は全国第1位である。また、労働力は、全国平均より高く、南部、甲賀、東近江地域が高水準となっている²⁾。

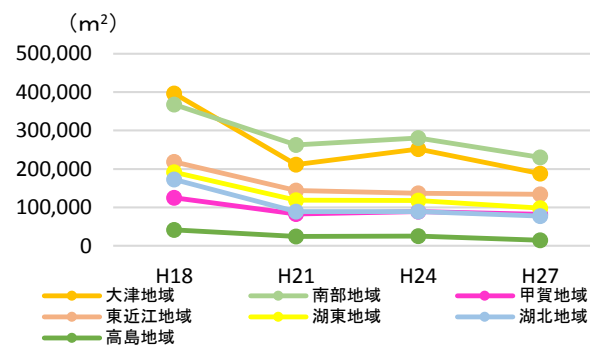


図-2 住宅着工延床面積の推移

2. 道路ストック効果

(1) 滋賀県の地理的優位性

滋賀県の100km圏には、大阪市、名古屋市、京都市等の政令指定都市、大阪港、神戸港の国際戦略港湾が位置し、それらと滋賀県を繋ぐ国道1号、8号、名神高速道路、新名神高速道路といった主要交通網が整備されていることにより、地理的優位性を有している³⁾。

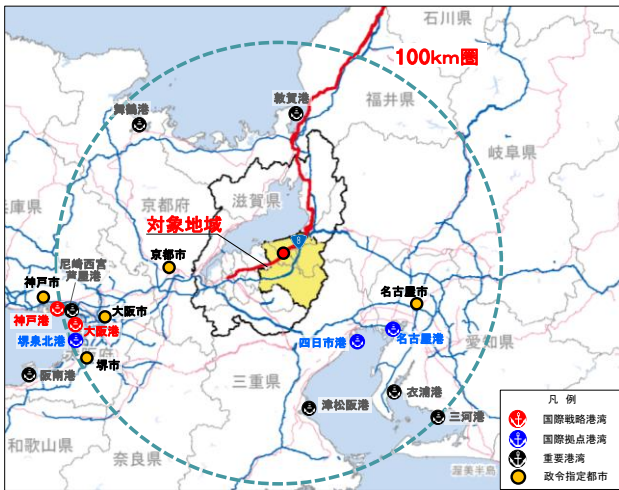


図-3 100km圏内に位置する重要項目

(2) 日本一のものづくり県、滋賀県

滋賀県の県内総生産に占める第2次産業の割合は約41%であり、全国第1位となっている⁴⁾。滋賀県内では、甲賀地域、東近江地域、湖東地域で第2次産業における生産額が多く、かつ高割合となっている⁵⁾。

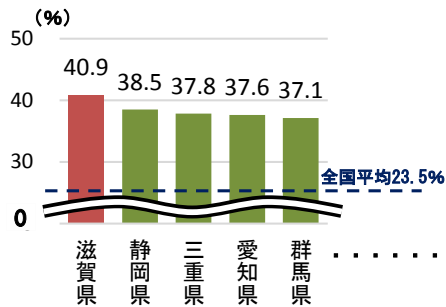


図-4 県内総生産に占める第2次産業の割合



図-7 南部・甲賀地域の工場等立地状況

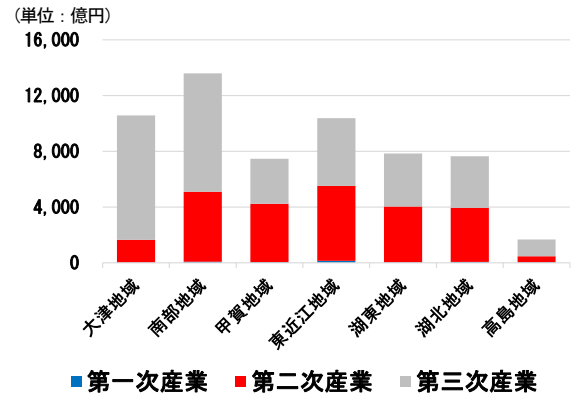


図-5 県内地域別の第2次産業の割合

(3) 南部・甲賀地域のストック効果

南部地域においては、名神高速道路、新名神高速道路等の開通により、人口および事業所数が増加している⁹⁾。また、社会経済ストックが充実しており、日本や世界のトップシェアを誇る企業が数多く立地している⁷⁾。

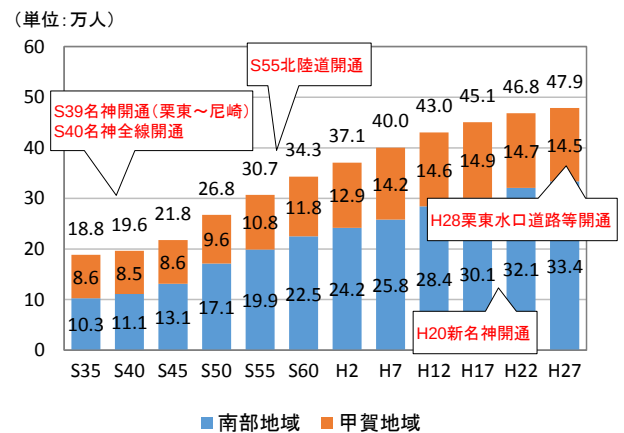


図-6 南部地域・甲賀地域の人口推移

例えば、栗東市にある三菱重工工作機械（株）では、神戸港・大阪港（海外から輸入）、および国内サプライヤーから名神高速道路等を利用し部品等を搬入しており、各種工作機械、精密切削工具等の完成品を名神高速道路等を利用し全国各地、さらには神戸港・大阪港を経由して世界各国へ搬出している⁸⁾など、企業活動において道路網が効果的に活用されており⁹⁾、それにより社会経済活動を支援している。

さらに、本地域では、平成28年3月に国道1号栗東水口道路・水口道路が開通しており、本路線の事業中の先線区間の整備と合わせて、企業活動の活発化支援、さらには、それに伴う人口増加等による地域活性化が期待されている。

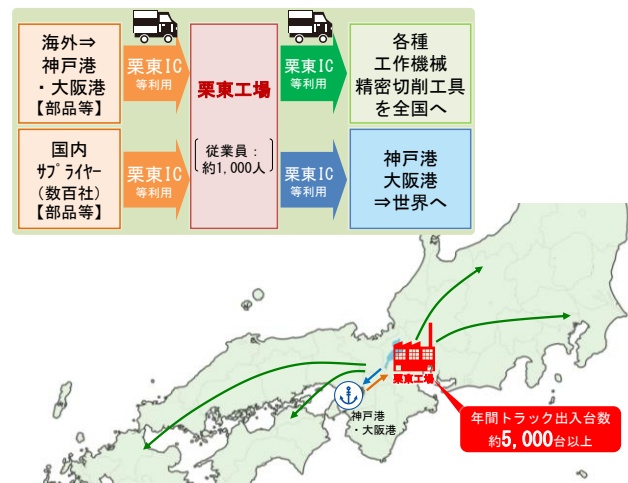


図-8 三菱重工工作機械（株）の企業活動状況

開通に寄せる期待 ～世界を目指して、年々事業を拡大～

歯車加工システム

歯車工作機械
精密切削工具

造成中

栗東水口道路の開通により、
物流の利便性が益々アップ！
お客様にもお越しいただき
やすくなります!!

三菱重工
工作機械(株)
総務担当

トータルソリューション

大形工作機械 専用工作機械

微細加工ソリューション

超精密加工機 レーザー加工機 常温ウェーブ接合装置

図-9 三菱重工工作機械（株）が寄せる栗東水口道路の開通への期待

(4) 湖東地域のストック効果

a) 湖東地域の企業立地状況

湖東地域においては、搬入出に関する利便性が高いことを一因として、「国内シェア第1位」や「従業員数が1,000人以上」の事業所が多数立地している¹⁰⁾。

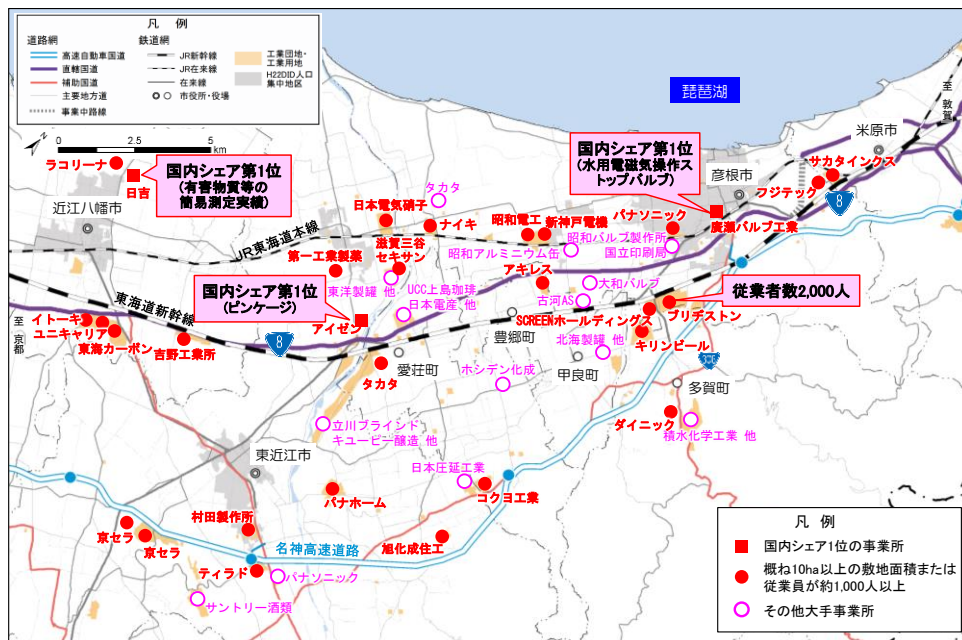


図-10 湖東地域の主要企業立地状況

b) ストック効果と交通課題

例えば、彦根市にあるA社の工場は、生産能力は世界第1位であり、材料等を神戸港、大阪港、および国内サプライヤーから名神高速道路等を利用して搬入し、中部・関西エリアのメーカーへ製品を供給している¹¹⁾。

しかし、工業団地の沿線となる国道8号は朝夕を問わず慢性的な渋滞が発生しており、製品等の納入時間の遅延リスクや通勤移動時の負担等の問題が発生¹²⁾し、経済活動の維持・増進の支障となっている。

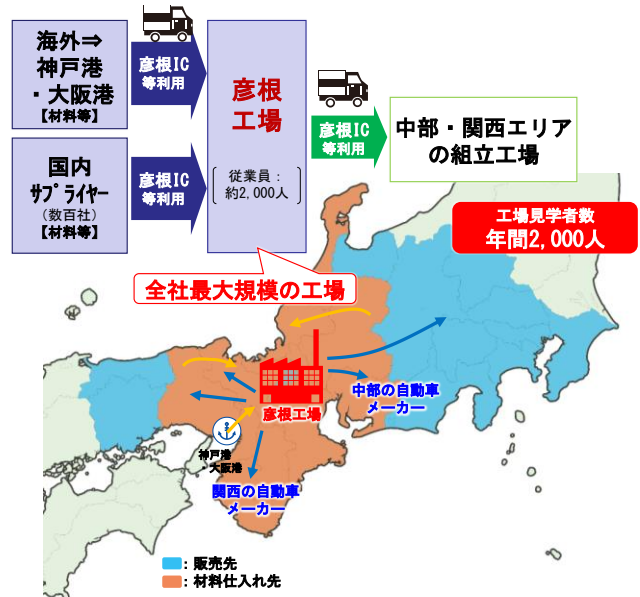


図-11: A社の道路網を活用した企業活動状況

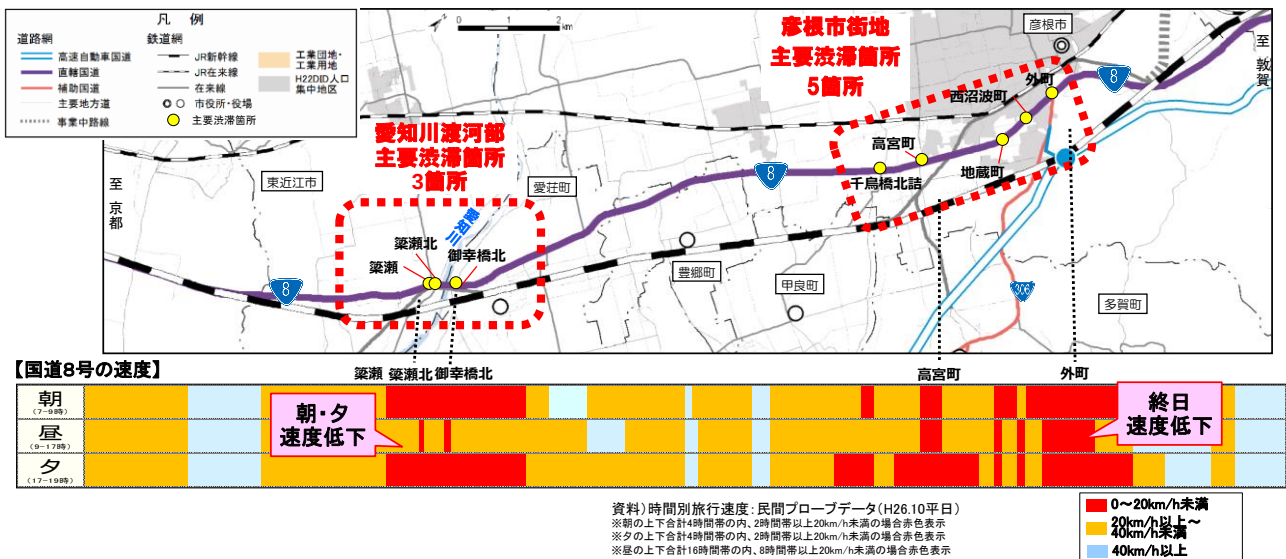


図-12 湖東地域における国道8号の渋滞状況

3. 今後の展望

滋賀県は、大都市や国際戦略港湾等へのアクセス性が高いという地理的優位性により、世界・国内トップシェアを誇る企業等の大規模な事業所が集積し、今もなお、人口や労働力が増加傾向にあるポテンシャルが高い地域となっている。

これは、高速道路網整備等に伴うストック効果であることが、今回の整理により確認することができた。

一方で、国道8号をはじめとして、慢性的な渋滞が生じており、材料調達や完成品供給等の物流活動に影響を及ぼしていると考えられる。

滋賀県が有する高いポテンシャルを発揮するためにも、更なるインフラ整備が求められており、特に、湖東地域の国道8号の交通円滑化等、早急に道路整備を推進していくことが求められている。

参考文献

- 1) 各地域の人口および伸び率：国勢調査
- 2) 建築着工統計調査
- 3) 国土交通省みなと一覧
- 4) 県内総生産に占める第二次産業の割合：滋賀県民経済計算（2012年）
- 5) 県内地域別の第二次産業の割合：滋賀県民経済計算（2013年）
- 6) 南部地域・甲賀地域の人口推移
- 7) 南部・甲賀地域の工場等立地状況：
- 8) 三菱重工工作機械㈱の道路網を活用した企業活動状況：滋賀国道事務所ヒアリング調査
- 9) 三菱重工工作機械（株）の栗東水口道路の開通に寄せる期待：滋賀国道事務所ヒアリング調査
- 10) 湖東地域の主要企業立地状況：滋賀県調べ
- 11) A社の道路網を活用した企業活動状況：滋賀国道事務所ヒアリング調査
- 12) 湖東地域における国道8号の渋滞状況：民間プローブデータ